

西中図書館 新刊オススメ本



『地球温暖化で雪は減るのか 増えるのか問題』

[川瀬 宏明 著]
ベレ出版

日本には、日本海側を中心に、雪の降る地域がたくさんあります。スキーで雪を楽しむ人もいれば、雪かきや雪下ろしに苦労する人、雪解け水を農業

などに利用する人もいます。そんな身近な雪の「これから」に大きく関わる存在なのが、地球温暖化です。

気温が上がると、降雪は減ってしまうのでしょうか？どうやら、そんな単純なことではないようです。日本でただ一人、雪と地球温暖化を専門に研究する著者が、雪と地球温暖化の関係に迫ります。



『志麻さんちのごはん』

[タサン 志麻 著]
幻冬舎

『NHK 趣味の園芸 12 か月 栽培ナビ シクラメン』

[吉田 健一 著]
NHK 出版



『猫君』

[島中 恵 著]
集英社

『しらふで生きる 大酒飲みの決断』

[町田 康 著]
幻冬舎



町民ギャラリー 上野尻俳句会

2月の例会、兼題は「薄氷^{うすらひ}」。「薄氷」は、春先ごく薄く張る氷や、解け残った薄い氷のこと。初春の季語。新型コロナウイルスの影響で、2月例会は中止したが、作品は提出してもらった。出句のなかにも、世情が滲む^{にじむ}。解けゆく薄氷のように、疫病も平癒してほしい。

上野尻俳句会 会長 星 敬介

軒先の薄氷指でそつと割る
春めきてカバン背負ふ子の振り向かず
子を送る道春めきて照り返す

星 よしこ (上野尻)

薄氷目覚めし魚の姿見ゆ
春めくや里の小川のさらめきて
暖冬や悲喜こもごもの世となりぬ

齋藤 信子 (上野尻)

薄氷の小川の辺り散歩道
桜餅並ぶ店先孫思ふ
感染に沈まり願ふ春寒し

薄 市栄 (上野尻)